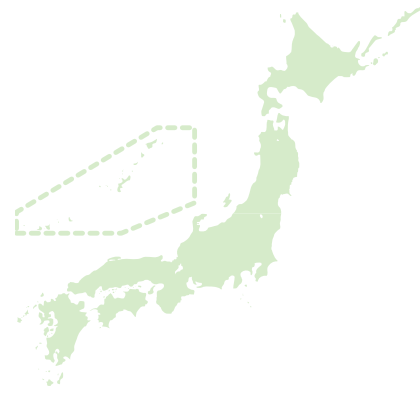


令和元年度

「言語聴覚の日」イベント報告



山形県（置賜）

失語症啓発フォーラム報告書 in置賜

令和元年10月19日(土)に置賜地区で失語症啓発フォーラムが開催されました。

山形県内4地区のうちトップバッターということで、手探り状態、またどれだけ参加者が集まってくくださるかもわからず、不安でした。準備として、フォーラムの情報を3市5町の市報に掲載して頂き、3市には直接出向き障害福祉課の方に直接説明とご案内をしました。他には仕事上で関わっている失語症の方やご家族に声をかけたり、チラシを貼ったりしましたが、十分な広報が出来なかったと反省しております。フォーラムを知ったきっかけはSTに聞いてが一番多かったです。

当日は、一般の方35名(うち失語症の方12名)、STなど医療関係者25名の計60名の参加がありスタッフ一堂びっくりしました。



それだけ、失語症についての学びの場が少ないのだろうなと感じたところです。内容は失語症について学びの講座を一時間半、その後休憩を挟んで座談会で失語症の方と一般の方、STがお茶を飲みながら情報交換をしました。講座の中では、講義を聞く前に失語症について○×形式の質問をし、その後講座の最後に同じ質問をしてみました。初めの質問の時には、「失語症の人に50音表を指差してもらおうとよい」「精神的ショックやストレスが原因で失語症になることがある」に手を挙げる方も1/3くらいいらっしゃいました。皆さん居眠りもせず一生懸命聞いてくださったので、最後に質問をした際にはほぼ全員が正答となり、失語症に対して理解が深まったと思われます!

また講座のなかで、失語症の方の気持ちになってみようということで、わかって

いても伝えられないもどかしさを体験して頂いたり、コミュニケーションのとり方についての実習もさせて頂き、皆さん楽しそうに参加されていました。置賜地区は失語症友の会の会員の皆様にもご参加頂いたので、一時間半話を聞いていただけるのかと心配しましたが、皆さん集中して聞いてくださり、失語症の方にすごく良くわかったと言って頂きました。

重度失語症の方はわからないと言いながらも、スタッフやご家族に促されて参加できていたようです。

また、病院の外来STが終了になって気にはなっていたものの、ずっとお会いできていなかった失語症の方も参加して下さって、感激の再会を果たしたこともうれしいことでした。座談会は置賜地区はこれといって何か催し物を企画したわけではなく、みんなでざっくばらんにお茶を飲みながら話そうという事にしましたので、何かに縛られることなくゆっくりした雰囲気、あちこちで笑い声も聞こえて楽しい時間となりました。

山形から参加して下さった失語症の方と村山地区のSTがつながったりと、次々にご縁が広がった場でもありました。

スタッフ一堂楽しく参加でき、アンケートの中にも失語症の方やご家族と気軽に参加できる機会をお願いしたいなどの声もあり、大変有意義な会だったと思います。

今後、失語症者向け意思疎通支援事業について更なる啓発活動や、伝えること自体が難しい失語症の方のニーズの掘り起しなどSTとしてやらなければならないことはあると感じました。

